

尾が出現した。発光器の区分と数を示すと I-P 11、O-V 28、V-A 14、A-C 38、B-R 10であった。

Vinciguerria nimbaria (JORDAN and WILLIAMS) ヤベウキエン

(2回出現、2尾)

1973年1月にO-4で全長21.0mm1尾、1974年12月にO-3で全長29.3mm、1尾が出現した。いずれも丸特ネットによる出現である。2尾とも幼魚で発光器は完全に定数に達していた。発光器の区分と数を示すと、I-P 8、O-V 15、V-A 10、A-C 13、B-R 8であった。

Cyclothone sp. オニハダカ属 (3回出現、8尾)

1972年2月にO-2で全長4.3mm1尾が丸特ネットにより出現、O-3で全長13.0mm1尾が同じく丸特ネットにより出現した。稚魚ネットでは1973年5月にO-6で全長範囲23.0-24.8mm6尾が出現した。いずれもシラスで発光器は定数に達していない。

Gonostomatidae gen. spp. ヨコエソ科種不明 (18回出現、68尾)

四季を通して全海域に出現したが秋期から冬期に多く出現した。

6. Astronesthidae トカゲハダカ科 (1回出現、1尾)

Astrencesthes indicus BRAUER ホホジロトカゲギス (1回出現、1尾)

1972年8月にO-3で全長14.8mm1尾が丸特ネットにより出現した。発光器の区分と数はI-P 4、P-V 6、V-A 7、A-C 9、O-V 6、背鰭条数は15条。

7. Melanostomiidae ホテイエソ科 (2回出現、2尾)

Melanostomiidae gen. sp. ホテイエソ科種不明 (2回出現、2尾)

1974年10月にB-3で全長16.0mm1尾、1975年2月にB-5で全長17.2mm1尾が出現した。

Stomiatina ワニトカゲギス亜目科、種不明 (5回出現、7尾)

Clupeida - whitebait ニシン目魚類シラス科、種不明 (89回出現、422尾)

8. Synodontidae エソ科 (30回出現、65尾)

Synodus sp. アカエソ属 (1回出現、1尾)

1974年10月、O-2で全長37.0mm1尾が出現した。体腹面の大きな円形黒斑の配列、数により *Synodus synodus* と思われる。

Trachinocephalus myops (SCHNEIDER) オキエソ (18回出現、39尾)

夏期から冬期にかけて出現し、出現盛期は秋期、出現地点はA-1、A-5、O-2、O-

6. 全出現個体の体長組成を図-7に示した。全長範囲は8.0-45.9mmでモードは20.1-25.0mmであった。東支那海域、黒潮主流域より近海域はより大型の個体が出現した。

Synodontidae gen. spp. エソ科種不明 (11回出現、27尾)

四季を通して出現し、出現盛期は秋期、出現個体の全長範囲は8.7-38.2mm、湾内以外